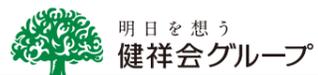


一人ひとりが確かな進化をめざして



健祥会だより 2018

KENSHOKAI DAYORI vol.43



vol.43
KENSHOKAI
DAYORI

「0歳から100歳overファッションショー」開催
(KIRARI WOMANネットワーク主催) 健祥会トゥモローホール

2018年号 発行編集/健祥会グループ ※紙面の写真・文章等に関してはご本人の同意を得て掲載しています。 ※不許複製

あなたを待ってる人がいる
あなたが輝く場所がある

職員募集中!

笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で
私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがい満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します! 福利厚生も充実。
徳島県のはぐみ支援企業認証を受けており、仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

正社員・パート 勤務地・勤務時間・給与応談!

■募集職種

介護職員・理学療法士・作業療法士・看護師・管理栄養士・栄養士・調理員・訪問介護員

ご興味のある方は下記または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部 集え人財室 TEL.088-642-7522



世界を觀よう! 仲間と楽しもう! 2016-2018 職員親睦研修旅行

今年もいろんなところへ行ってきました!

【国内】

北海道・信州・北陸・長崎・屋久島・沖縄
東京(東京ドーム&はとバスツアー、東京ディズニーランド)
プロ野球観戦(東京ドーム・広島市民球場・阪神甲子園球場)、高校野球観戦
大阪・兵庫(エキスポシティ、USJ、吉本新喜劇、シルク・ドゥ・ソレイユ鑑賞、宝塚歌劇団観劇)

【海外】

オーストリア・ドイツ・スイス、スペイン、イタリア、フィンランド、オーストラリア
ニュージーランド、ハワイ、シンガポール、韓国、台湾、マカオ・香港



健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1 TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668

特定社会福祉法人として
変革の時代に臨む

人口減少期に入り、大きな変革のときを迎えた日本。社会保障分野においても制度の持続性を高めるための改革がすすめられています。社会福祉法の改正により、2017年にはグループ内の社会福祉法人健祥会と緑風会が、全国で2万を超える社会福祉法人の中で300ほどしかない特定社会福祉法人となり、社会への大きな責任を負うことになりました。ガバナンスと財務規律の厳格化、組織の透明性、地域貢献がより高いレベルで求められますが、企業であれば、一部上場になったようなものと受け止め、身を引き締めて経営に臨んでいます。

よいサービスのために
職環境の充実を！

私たちは、不変の行動指針として、「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」を掲げ、地域

社会の「安心」のために挑戦を続けています。本年は年訓において、慣れあいや慢心を戒め、職としての本分を再確認する意味で敢えて責務という強い言葉で、「利用者様への優しさ」を謳いました。

また、昨年来、力を入れて取り組んでいるのが職環境の充実です。人財の質がサービスの質に直結しますから、魅力ある職場、選ばれる職場とするために、「仕事と家庭」を両立できる柔軟な職環境づくりと、キャリアパスに基づいた人財育成を推しすすめています。

2017年には、女性が働きやすい職場として「えるぼし」認定の最高位の三つ星を取得、育児を応援する「はぐくみ支援企業表彰」もいただきました。子育て応援手当ての創設や男性の育児休暇取得の推奨、170余名にのぼるEPA人材へのサポートとさらなる受け入れの推進、ICT活用による職員の負担軽減など、様々な取り組みをすすめています。

制度がどうあろうと、
サービス向上にこそ
努めて

2018年度の診療、介護、障害福祉の3報酬の同時改定では、介護、障害福祉はプラス改定、医療も本体はプラスとなりました。制度に左右されるビジネスではありませんが、加算のためのサービスならぬよう、また、制度に振り回されることのないよう、現場を大切に、サービスの質の向上に努めてまいります。

幼児教育においては無償化が打ち出され、女性の活躍を支える専門職として、保育士の処遇改善もすすめられています。グループ4園では、「人としての基礎がつけられる3・4・5歳期の教育が子どもの未来を決する」という揺るぎない信念のもと、引き続き、質の高い就学前教育、保護者のニーズに沿った保育に努めてまいります。

ニーズを見据えた
新しい挑戦、続々！

昨年は、大阪市の特別養護老人ホーム健祥会エンリケに併設したり、ハビリ特化型のデイセンター健祥会マヌエルを開所。徳島市では、健祥会グループ初のアンテナショップ「介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI」をショッピングプラザタクトにオープンさせました。そして2018年3月、健祥会グループ本部のある拠点エリア・徳島市国府町に、新しい施設、グループホーム元気がオープン。4月には、徳島健祥会福祉専門学校が校名を専門学校健祥会学園と改め、新たなスタートを切りました。(↓詳細はp.5へ)

組織も職員も、
進化と挑戦を続けて

医療も介護も保育も、人財確保や生産性向上、AI対応など、課題は山積しています。また、景気の回復に伴って人材不足が深刻化し、福祉業界でも競争が激化することは必定です。今年には診療、介護、障害福祉報酬の同時改定、2019年には天皇陛下下退位と参議院選、消費税10%、2020年には東京オリンピックと、大きな出来事が続き、政治・経済ばかりか我が国のあるところが大きく変わると思われます。世界情勢にも

注意を払っていかねばなりません。そんなマクロの視点も大事にしつつ、社会保障分野といえどもしっかりと戦略を以って経営に臨んでまいりたいです。地域の安心と組織の持続性のために、職員にも自己研鑽と確かな進化を促しながら、質の高いサービスを提供する供給体へ、働きがいのある職場へとたゆまぬ挑戦を続けてまいります。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願います。

たゆまぬ進化と挑戦で 激動の2018年に臨む!

健祥会グループ 理事長 中村 太一



平成三十年訓

一、利用者様への
優しさは
私の責務

一、助け、助けられ、
共創してこそその職場

一、一つのこと、
小さなことから
地域に元気を

明日を想う 健祥会グループ

グループの新しい4つの挑戦を紹介

健祥会をもっと身近に! アンテナショップ誕生!

2017 11/11(土)

日頃から介護・医療・保育を身近に感じていただけるよう、徳島市南島町のショッピングプラザタクトに健祥会グループ初のアンテナショップ「介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI」をオープンしました。職員を常駐させ、介護・医療・保育全般についてのお問い合わせやご相談に応じます。買物のついでに気軽に立ち寄って情報に触れたり、

「介護・医療・保育相談センター」
by KENSHOKAI



年中無休(1月1日除く)
9時30分～20時/相談無料
1階西北出入口、入ってすぐ左側、エレベータ前スペース

バイタルチェックをしたり、どうぞご利用ください。

リハビリ特化型のデイセンター 健祥会マヌエルオープン

2017 11/1(水)

我が国の高齢化率は27%を超え、もはや地方だけの問題ではなく、都市においても深刻です。大阪市でも25%を超え、在宅サービスのニーズが高まっています。これにお応えするために昨年11月、同市内にある特別養護老人ホーム健祥会エンリケに併設して、リハビリ特化型のデイセンター「健祥会マヌエル」が開所しました。



専用マシンを使ったパワーリハビリや柔道整復師によるリハビリ、チェアヨガやレッドコードエクササイズなどのメニューを豊富に揃えて、安全で無理のないプログラムをお一人おひとりに提供。転倒予防、痛みやしびれの緩和を図りながら、機能維持・回復をめざしていただきます。エンリケともども、地域の福祉資源としての役割を担い、皆様の健康増進や介護予防を推進してまいります。

健祥会だより 2018 VOL.43



CONTENTS



2 たゆまぬ進化と挑戦で 激動の2018年に臨む!

健祥会グループ 理事長 中村 太一

5 Topics グループの新しい4つの挑戦を紹介

6 集え人財! 採用活動レポート

8 職員一人ひとりが輝く健祥会へ

10 「にっこりホッと推進月間」に3776のうれしい投稿

施設サービス力向上をめざして!
2016年度 年間取組発表

11 支え合いつながり合う あたたかな地域でありますように

2017年 地域活動報告

14 KIRARI WOMAN ネットワーク 活動報告

15 海外からのお客様を迎えて

16 スポーツで地域に元気を! みんなに生きがいを!

18 健祥会グループ フォトコンテスト 2017



時代の困難に立ち向かう盾となる! 「専門学校 健祥会学園」 2018年4月スタート

2018年4月、徳島健祥会福祉専門学校は校名を「専門学校 健祥会学園」と改めます。創立20周年を機にすすめてきた教育の質の深化、教員の資質の向上、教育環境の充実などの改革を加速し、人口減少・超高齢時代を支える有為な専門職の育成をより強力に図ってまいります。

新しいロゴマークは、超高齢化と人口減少という時代の困難に立ち向かい、社会の「盾」になる人財を育成するという決意を込めて、「盾(shield): シールド」をデザインコンセプト

地域に元気を届けたい! 「グループホーム 元気」 2018年3月開所

健祥会グループ本部のある徳島市国府町に、2018年3月、グループホーム「元気」が開所します。健祥会グループ10番目のグループホームです。元気の開所により、健祥会グループの拠点エリア・国府地区には、特別養護老人ホームから、ケアハウス、デイセンター、グループホーム、診療所、専門学校まで、様々な施設と機能が集結。地域の皆様の多様なニーズにワンストップでお応えできる態勢が整います。グループで培ってきたノウハウを生かして、利用者様の元気のために、



職員が元気で、地域に元気を発信してまいります。

■新ロゴマーク



社会福祉法人 健祥会 専門学校
健祥会学園

に採用。新しい校名をKとGのイニシャルで表現しました。

高齢時代を迎え、高齢化率は27%を超えました。介護・医療の話題、待機児童問題などが新聞を賑わさない日はないほど、介護・医療、そして保育は社会にとつての大きな関心事であり、私たちの役割はとてつもなく大きくなっています。景気の回復で有効求人倍率も高く推移する中、福祉・医療・教育・保育への志を持って健祥会グループを選んできた人財47名を迎えました。

4月1日に行われた辞令交付式では、健祥会グループ理事長 中村太一から、一人ひとりに辞令書が手渡され、以下の訓辞(抜粋)がありました。



47名の新入職員を迎えて

健祥会グループ
平成29年度 辞令交付式

2017 4/1 (土)

健祥会グループは不変の目標として、「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」という3つの行動指針を掲げています。人に向き合う私たちの仕事は結果が数字に出るわけではなく、頑張りが見えにくいのですが、だからこそ、「共創と競争」で自らの力をアップし、施設力、グループ力をアップさせていかねばなりません。皆さんに力を発揮してもらうために、待遇や職場環境のルールなども常に見直し改善していきたいと思えます。どうか「新聞」を読むことを習慣にし、「問題提起力」を養い、「優しさ力」を磨き続けてください。今の志とモチベーションを持ち続けて、グループを支える一人ひとりへと成長していただく。共に頑張りましょう。

集え人財！ 採用活動レポート

「人」にしかできない仕事！ 誇りを持って！ 健祥会グループ 平成30年度 職員採用内定式

2017 10/2(月)



総合職、介護職、事務・経理職、管理栄養士、保育士など、様々な職種の人財を迎え、健祥会グループ平成30年度職員採用内定式が徳島グランヴィリオホテルで執り行われました。健祥会グループ業務執行理事中村晃子から、内定者へ内定証書が授与され、歓迎の挨拶がありました。

健祥会グループ業務執行理事 中村 晃子 挨拶(抜粋)

健祥会グループは利用者様のために現場第一主義で、性別・年齢・国籍を問わず、多様な職員がその能力を最大限に発揮できる職場をめざしています。女性の活躍にも力を注いでおり、今年徳島県で初の「えるぼし」

認定をいただきました。介護職の負担軽減のためにロボットやセンサーの導入もすすめています。

介護福祉の業界は大きく変わります。当グループの理事長が徳島商工会議所会頭に就任したこともその表れです。そのことをしっかりと認識し、この業種を選んだことに自覚と誇りを持って、ともに健祥会の未来、業界の未来をつくっていきましょう。

ワークショップ、そして懇親会 緊張ほぐして、笑顔で交流

その後、健祥会グループの若手施設長・管理職を交えてワークショップを開催。「福祉×未来 20年後の介護・保育・徳島を想像しよう!!」というテーマでグループワークに臨みました。20年後を想像するのは難しかったようですが、「最先端と人の手のぬくもりのシナジー」「人とロボットの役割分担」「あたらしいコミュニケーションの確立」など、未来へのキーワードがグループごとに発表されました。続く懇親会ではビュッフェ形式で食事をとりながら親交を深め、和やかな時間を過ごしました。

福祉のシゴト場を体験しよう！ 1DAYインターンシップ

2018年度の新卒採用活動として、就活中の県内外の大学、大学院生、8名の皆さんに参加いただき、1DAYインターンシップを開催しました。

丁寧に耳を傾ける 「傾聴」に挑戦

「傾聴」を体験するために施設訪問。学生さんたちを笑顔で迎えてくれたデイサービスセンター利用者様から、「自分のことや家族のこと、人生観、地域の歴史・文化や風習など、興味深いお話を聴かせていただきました。」



「チームビルディング」で連携の大切さを実感!

多くの職種が協働する福祉の現場では、チーム連携こそが質の高い仕事とやりがいの要です。希望職種のような学生さんたちに、チームビルディングという手法を用いたグループワークにより、ひとつの目標達成に向かつて仲間が協力・連携することの大切さを体感していただきました。

健祥会グループEPA人財 介護福祉士国家試験合格率75.9%

2017 3/29(水)

2016年度の介護福祉士国家試験では、EPA(経済連携協定)介護福祉士候補者は209人のうち、104人が合格。合格率は49.8%でした。健祥会グループではインドネシア18名、フィリピン11名が受験し、それぞれ14名、8名が合格。健祥会グループにおける合格率は75.9%と、昨年に続いてすばらしい成績を収めることができました。候補者一人ひとりの頑張りやグループをあげての支援、さらに、各施設で励まし見守ってくださった利用者様、地域の皆様の応援のおかげです。ありがとうございます。

2017年、35名のアジアの仲間を迎えて

アジア諸国とのEPAによる介護・看護人材交流のスタートから10年を経た今年、在留資格に「介護」が加わり、「技能実習」制度もすすんでいます。国家資格取得という目標を持って高い専門性を身につけるEPA人財はキラリ輝く存在です。

今年も健祥会グループに、ベトナム4期生5名、フィリピン9期生8名、インドネシア10期生22名の介護福祉士候補者を迎えました。

現在、インドネシア87名、フィリピン52名、ベトナム33名、合計で172名が就労しており、53名が介護福祉士の国家資格を取得。日本でもっとも多くEPA人財が就労する職場です。

「未来のfukushiはrevolutionのその先に」 学生と保護者に健祥会の今と未来を紹介

2017 12/16(土)

県内大学、高専の学生と保護者、県内大学への進学を希望する高校生を対象に、学生の卒業後の県内定着率の増加を目的として、「徳島の魅力、徳島で働く」徳島で働くためのガイドランス※が開催され、健祥会グループ本部長 中村晃子が地域医療・福祉関連分野を代表して講演。「未来のfukushiはrevolutionのその先に」と題して、高齢化の現状と未来予測、変わりゆく医療・福祉分野の動向、健祥会グループの新しい取り組みと可能性などについて紹介しました。

同時開催の個別企業相談会では、健祥会グループ本部「集え人財室」が相談会ブースを出展。

ヒューマノイドロボットPALROが迎え、医療・福祉分野の将来性や健祥会における職場環境向上の取り組みなどについてPRしました。

※文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」の一環です。



2017 11/10(金)

「高年齢者が頑張る！輝くまじくり」とテーマを掲げ、9月23日、アステイトくしまで開催された「NPO法人高齢社会をよくする女性の会」の第36回全国大会。健祥会グループ本部長 中村見子が1日目の第5分科会でパネリストを務めました。

働き方改革シンポジウムで本部長中村見子が取り組み発表

働きやすさと
働きがい求めて！

アステイトくしまで開催された輝く女性応援フェスティバル2017(徳島県プロフェッショナル人材戦略拠点主催)の「働き方改革シンポジウム」誰もが希望を持って活躍できる職場づくりにおいて、健祥会グループの働き方改革に向けた取り組み発表の機会をいただきました。

女性が働きやすい職場として「えるぼし」最高位の三つ星認定、育児を応援する職場環境に贈られる「はぐくみ支援企業表彰」取得、子育て応援手当の支給をはじめ、健祥会グループの女性応援の現状を発表。多様で柔軟な雇用形態を実現していること、女性だけでなく男性も、そしてシニアもグローバル人材も活躍していること、テクノロジーの活用により職員負担の軽減や利用者様の安心を推進していること、さらに女性活躍のためのポジティブアクションの実践などを紹介しました。



2017 9/2(土)



本部長は「1世紀を越えて生きよう」と題して、健祥会グループの施設利用者様の中に、100歳以上の方が74名いらっしゃること(女性70名男性4名・最高齢105歳)、そのうち徳島県内53名の方にアンケートを実施し、「元気で長生き」の秘訣を探ったことを紹介。食事・運動・社会性・習慣などに学ぶべき点が多く、明るく優しく、ポジティブな性格であること、共通点が見出されたことなどを話しました。また、スライドで紹介した100歳の利用者様が会場にお越しください、元気な笑顔でインタビューにも答えてくださいました。



2017 3/21(火)

徳島県と公益社団法人徳島県労働者福祉協議会により、平成28年度徳島県次世代育成支援のための職場環境整備事業「はぐくみ支援」実践セミナーが開催され、はぐくみ支援企業表彰を受けた企業経営者として健祥会グループが事例を発表しました。

男性の育児休暇
取得率20%超え！

女性の育児休業の取得率は3年連続100%、休業後もそれぞれの事情に合わせた勤務が可能なため、職場復帰率は98%という極めて高い数字であること、出産・育児に限らず、介護をはじめとした様々な家庭の事

情を考慮し、両立を図りながら意欲を持って仕事を続けてもらうため多様で柔軟な働き方が用意されていること、また、男性の育児休業の取得を奨励しており、2年連続20%を超えていることなど、グループの現状を紹介。女性職員の豊かな学びをサポートする活動、170名余り、在籍する外国人スタッフの子育て

支援や、グループの認定こども園・保育園による地域の子育て支援などの取り組みについて話るとともに、IoTやICTを活用した働き方改革への意欲を示し、効率的で柔軟な職場環境がやりがいや喜びにつながり、ひいては利用者様の満足度アップにつながるとしめくりました。



「はぐくみ支援」実践セミナーで社会福祉法人健祥会の事例発表



職員一人ひとりが輝く健祥会へ

「人」(利用者様)に向き合う福祉の仕事は、「人」(職員)こそすべてです。性別も職種も国籍も家庭環境も様々な人財が、それぞれの能力を発揮し、喜びをもって働いてこそ、利用者様への良いサービスが実現できます。そして、職員一人ひとりが輝いてこそ組織が輝きます。そのために、働きがいのある職場、魅力ある職場環境づくりに努めています。



徳島労働局長から認定通知書をいただく健祥会本部長 中村見子



- 5つの評価項目とは…
- 1 採用
 - 2 継続就業
 - 3 労働時間等の働き方
 - 4 管理職比率
 - 5 多様なキャリアコース

- 女性が進むべき職場づくりに取り組む企業を認定する「えるぼし」制度において、社会福祉法人健祥会の行動計画が5つの評価項目の基準をすべてクリアし、最高位の三つ星を獲得。徳島県ではじめて厚生労働大臣の認定を受けました。
- に関する条件すべてを満たしての三つ星ですが、特に④の管理職者比率については、管理職に占める女性の割合45%という高い数字を誇っています。
- ⑤の多様なキャリアコースについては、A 女性の非正社員から正社員への転換 B 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分間の転換 C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 D おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用
- のうち2項目を満たすことが求められていますが、健祥会では4項目とも実現しています。

「えるぼし」で女性が働きやすい職場 最高位の三つ星認定!

2017 4/26(水)

グループ5法人揃って「優良健康づくり事業所」に!

健祥会グループでは職員が心身ともに健康で気持ち良く働き続けられるよう、健康増進のために積極的に投資する健康経営を推進しています。その一環として、グループ5法人が揃って「健康事業所宣言」を行い、全国健康保険協会(協会けんぽ)の定める「優良健康づくり事業所」認定にエントリー。検診の受診、重症化の予防、禁煙対策、メンタルヘルス対策、運動推進、脱メタボ対策などに取り組み、2016年4月「優良健康づくり事業所」と認定されました。働く人の元気づえが、組織の元気と質の高いサービスの源です。宣言内容をしっかりと実践し、職員の健康づくりにさらに努めてまいります。



社会福祉法人 健祥会 社会福祉法人 緑風会 社会福祉法人 育英福祉会 社会福祉法人 青嵐会 医療法人 青嵐会

健祥会グループでは14のステージで
施設が連携・協働し、
地域福祉の充実・発展のために
様々な地域活動を行っています。

支え合いつながり合う
あたたかな地域で
ありますように



2017年度 47名の新入職員を
迎えた健祥会グループ。3月1日
から1か月にわたって研修が行
われ、その最終日は恒例の地域
活動の日です。47名はグルー
プ本部のある徳島市国府町で
本部職員とともに清掃活動
を行った後、県道30号線沿いで

「めざせ事故ゼロの町」 新入職員が交通安全の呼びかけ



2017 3/29(水)



第10回を迎えたとくしまマラソン。
健祥会グループは昨年に続き、ボラ
ンティアとして、徳島の一大イベント
となったこの大会に参加させていた
できました。

昨年同様、26日当日、六条大橋北
詰の第4給水所で塩と水、スポーツ
ドリンクのサービスを担当。先頭ラン
ナーの通過した10時から給水所
手前の第3関門が閉鎖され最終
ランナーが通過するまでの2時間
あまり、楽しみながら苦しみながら
頑張る走るランナーの皆さんを
精一杯応援しました。

また、今年初めて実施された前日の
徳島中央公園での「ファンラン」イベ
ントでも、城山の西側給水所を担当
し、スポンサー企業提供のパン、バナ
ナ、スポーツドリンクをサービスしな
がら、笑顔で応援しました。ランナー
には健祥会グループ保育園の卒園
児の顔も見られ、応援にも力がはい
りました。



2017 3/25(土)・26(日)

今年も感動をありがとう！
とくしまマラソン2017にボランティア参加

「にっこりホッと推進月間」に
3776のうれしい投稿



2月を「にっこりホッと推進月間」として、利用者様
と職員、利用者様同士、職員同士、さまざまなふれ
あいのエピソードを募集。65施設から計3776の
投稿が寄せられ、職員間で内容を共有しました。施
設には何気ないあたたかなふれあいが溢れているこ
とがよくわかり、職員からは、「毎日の何でもない当
たり前のことを見直すきっかけになった」「いろい
ろな気づきを得られた」「他の職員の姿に学ぶことが
多かった」「利用者様への愛着が増した」などの感想
が寄せられています。「この仕事を選んでよかった」
「あしたも頑張ろう」との思いを胸に、優しさを高
め、しっかりと発揮し、より良いサービスの提供に努
めます。

例えばこんなエピソード

- 「手厚い介護に感謝しています」と、
看取りの利用者様のご家族からのメッセージにほろり♡
- 杖で歩く方の手を引き、同じペースでゆっくりと
一緒に歩く利用者様の姿ににっこり♡
- 外出から戻ったとき、「寒い中、お疲れさまでした」と
煎れてくれた温かいお茶…
- デイの送迎時、「なるべく揺れないようにと、
上手に運転してくれていることがよく分かる、ありがとう」と、
利用者様の言葉が大きな励みに♡

- 「ありがとう」のかわりに
「アリア10匹…ふふふ」と
楽しそうに微笑む利用者様、
その様子に和ませられちまもにっこり♡
- 「先生昨日休みだったけん、
今日の給食がおやつとき
一緒に座れたら座ろう」
園児の言葉と笑顔にじゅん♡



楽しさとやりがいをみんなで共有するために

健祥会グループの介護の現場では、介護職、リハビ
リ職、管理栄養士、調理員、看護師、医師、歯科衛
生士、ケアマネジャー、相談員など、様々な専門職
が連携して、利用者様一人ひとりの想いをくみとり、
生活の質をできるだけ向上させ、生きる喜びを
感じていただくとともにそれぞれの目標に沿って
自立支援に努めています。

こうした取り組みを評価することで、介護の楽し
さ、やりがい、誇りをグループ内で共有し、相互理
解を深め、現場の士気と意欲を高めようと、高齢
者施設・障害者施設の年間取り組み発表会を实
施しました。



健祥会トウモロホールで
決勝大会開催

2017 4/11(火)



優勝：特別養護老人ホーム健祥会モルダウ

エンターテインメント系48施設の中か
ら予選会で選ばれた8施設に
よる決勝大会を健祥会トウモ
ロホールで開催。ステージで、
寸劇を交えたり、音楽や小道
具を効果的に利用したりしな
がら、それぞれに頑張ってきた
取り組みを、工夫を凝らした
プレゼンテーションで披露し
ました。本部役員の審査に
より、以下の施設が表彰を
受けました。

優勝：特別養護老人ホーム健
祥会モルダウ「モーニングケアへ
の取り組みを通して」
2位：ケアハウス健祥会アムス
「食の楽しみ〜楽しく食べて、
心も体も笑顔で健康に！」
3位：老人保健施設健祥会
ハート「あなたの笑顔が見え
るまで〜新たな在宅復帰の
可能性〜」

施設サービス力向上をめざして！
2016年度年間取組発表

ノーマライゼーションを胸に！ 盲人福祉大会で職員有志がボランティア

徳島市で開催された「第70回全国盲人福祉大会徳島大会」(日本盲人会連合主催)。全国から訪れる参加者約1400人をサポートするために、5月27日・28日の両日、健祥会グループからそれぞれ職員有志14名がボランティアとして参加しました。事前に、目の不自由な方の安全安心な誘導法を学び、27日にはホテルクレメントで行われた「パリアフリー」「生活」「職業」をテーマとした分科会、28日にはアスティとくしま



での本大会の運営に協力しました。健祥会グループには視覚障害者施設はありませんが、参加職員は、社会福祉法人職員としてノーマライゼーションを考えるための良い経験ができました。



2017 5/26(金)~28(日)

7月31日は健祥会グループ「感謝の日」 「ありがとう」の言葉を添えて「感謝」をカタチに

グループ内の施設はすべて、様々な人々の汗と善意に助けられて誕生し、たくさんの人に支えられて今があります。そのことを忘れないために、健祥会グループでは創始者中村博彦の命日を「感謝の日」と定め、それぞれの施設が施設の誕生の歴史に思いを馳せ、利用者様やご家族、地域の皆様、そしてともに働く仲間への感謝の気持ちをカタチにしています。



による人形浄瑠璃の上演、僧職者を招いての法話、お笑い介護福祉士による催し、地域の方へのカフェ設置など、施設ごとに様々な「感謝」の行事が行われました。ご協力くださった皆様に申し上げます。



2017 7/31(月)

いつまでも健康で！自立を願って！ 健祥会グループ合同敬老会 全国38ヶ所で開催

9月18(月)は敬老の日。そして、9月11日から25日までの2週間は健祥会グループ合同敬老会週間です。合同と冠するのは、施設の利用者様も在宅の皆様も、揃ってご長寿をお祝いするから。合同敬老会は1980(昭和55)年、グループ発祥の地である徳島県吉野川市川島町で、特別養護老人ホーム水明荘の開所とともに始まり、以来38年、今年には全国38カ所で開催されました。

グループ本部のある徳島市国府町では、2017年春に完成したトゥモローホールで歌謡ショーを楽しんでいただくなど、それぞれの施設が趣向を凝らして開催しました。施設にお招きするばかりでなく、こちらから地域に向かい行うサテライト型敬老会も好評。元氣な笑顔、優しい笑顔、楽しい笑顔…たくさん笑顔に出会えた心あたたまる合同敬老会週間でした。



2017 9/11(月)~25(月) 合同敬老会週間

この積み重ねを大切に！ 徳島県総合防災訓練に参加

9月1日防災の日、健祥会グループでは、徳島県の総合防災訓練に参加するとともに、グループをあげての通信訓練、情報共有訓練、さらにDCAT(災害派遣福祉チーム)編成訓練をあわせて実施しました。

想定…南海トラフを震源とするマグニチュード9.1の地震
徳島県で震度7の揺れ
徳島市応神町の特別養護老人ホーム健祥会モルタウ、ケアハウス健祥会リバティ、障害者支援施設健祥苑が、津波により2階まで浸水

災害情報集約訓練

徳島市国府町の健祥会グループ本部では、IP無線機やタブレット端末を使って各施設と結び、法人災害対策本部を設営。グループ内全施設の災害状況や支援の必要性についてすべての情報を二元集約し、司令塔として対策に必要な措置を講じます。

DCAT研修

訓練終了後、グループ内で組織するDCATのメンバーに対して、その編成と活動について研修が行われました。昨年に続く、大規模な訓練でしたが、実際にを行うたびに、様々なことが洗い出され、対策を講じていく、その積み重ねが大事であることを実感しました。

健祥会グループでは、災害時にも、利用者様や職員、地域の方々との連携、生活を守りながら事業を継続するための計画(BCP)を作成しています。今後も研修や訓練を重ね、繰り返し計画を見直し実効性を高めてまいります。

福祉避難所設営訓練

地震発生後、施設では利用者様の安全を確保するとともに、近隣からの避難住民を受け入れ3階以上へ避難誘導。その後、災害対策本部を立ち上げ、人、建物、ライフライン、物資、周辺道路状況などの把握と情報共有を図ります。災害対策会議を開催し、法人災害対策本部とのweb会議、津波が引いた後の高齢者や妊婦などの要援護者を受け入れる福祉避難所の開設・運営、DCATの派遣要請、DCATの先遣隊の到着・活動まで、一連の流れを検証しました。



DCATの先遣隊の活動の様子を熱心に視察する飯泉嘉門徳島県知事



connect with everyone! いまこの瞬間から 第22回徳島健祥会福祉専門学校学校祭

医療・福祉の道をめざす高校生の皆様や地域の皆様に学校の教育活動を広く知っていただくために、10月28日・29日に学生たちの企画運営により、学校祭が開催されました。接近する台風の影響で、あいにくのお天気でしたが、それでもオープンキャンパスに、スーパーライブに、文化講演会に、2日にわたって多くの皆様を訪れてくださいました。2018年4月「専門学校健祥会学園」への校名変更を控え、「徳島健祥会福祉専門学校」として最後の学校祭でした。

- オープニングアクト
28日 国府中学校吹奏楽部
29日 国府小学校マーチングバンド
- スーパーライブ 28日
J-POPシンガーソングライター「K」
徳島の中学生ユニット「とこまる」
- 文化講演会 29日
「私の介護のカタチ」
介護シンガーソングライター
かんのめぐみ



J-POPシンガーソングライター「K」



2017 10/28(土)・29(日)

「介護の日」 施設でも啓蒙の催し多彩に

「介護の日」は、「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の心で「国民誰もが介護について理解協力する日」として定められたものです。健祥会グループでは、地域の皆様や利用者様、家族様にもご参加いただき、介護現場体験、リハビリ機器体験、健康講座、リハビリ体操教室、ロボット体験、八十八ヶ所参り、ふれあいカフェ、介護食試食会、シヨピングセンターでの無料介護相談、講演会など、施設ごとに多彩な催しを行い、「介護」を地域にアピールしました。

健祥会グループ初！ アンテナシヨップ誕生

またこの日に合わせ、健祥会グループ初のアンテナシヨップが徳島市南島田町のシヨッピングプラザタクトに誕生しました。(↓p.5)介護はもちろん、医療や保育について、お問い合わせやご相談に際しては、皆様から様々なお声をいただき、サービスに活かしていきたいと考えられています。お買物物について気軽に立ち寄りください。



オープンセレモニー

2017 11/11(土)

海外からのお客様を迎えて

ドイツ、インドネシアから、健祥会の介護現場へ視察のお客様を迎え、先進のソフト、ハード、職環境について視察いただきました。

ドイツ・ニーダーザクセン州からの訪問団 健祥会ハイジでマッスルスーツ体験!

2017 5/27(土)



徳島県との友好交流提携10周年を記念して来県している、ドイツ・ニーダーザクセン州の公式訪問団が、特別養護老人ホーム健祥会ハイジを訪れました。

一行は、ヴァイル首相、オネー国務長官、鳴門市の姉妹都市であるリューネブルグ市メドケ市長のほか、州議員、企業や大学関係者など35名。介護現場でのマッスルスーツの使用状況に興味を示され、忙しい日程の中に組み込まれたものです。

マッスルスーツは、空気圧式の人工筋肉が強い力で収縮し、これが身体を動かす原動力となり、人や物を持ち上げる際の腰や膝の負担を大幅に軽減するものです。首相も自ら実際に装着して、立ちたり中腰になったり、お互いに介助しあったりし、その効果に感心なされた様子でした。

首相が「マッスルスーツはシンプルで効果的ですが、高齢化するドイツでも広く使われるようになるだろう」と感想を述べられるとともに、「一行からは、施設の概要、運営費や利用者負担、またドイツでも増えている認知症についての施設での方針など、熱心な質問が相次ぎました」

社会福祉法人健祥会は、1997年にドイツ・マンハイム市と福祉連携協定を結び、健祥会ハーデン、健祥会ハイエルンなど、ドイツの都市の名前を施設名称にさせていただいています。また、徳島健祥会福祉専門学校の海外研修旅行でも例年ドイツを訪れるなど、長年交流を育んできました。いま、介護保険制度のお手本となったドイツの皆様から視察いただけるのは大変光栄です。

インドネシア在大阪総領事館とEPA担当機関スタッフ来設

2017 6/17(土)

インドネシア職員との懇談の場では、国家試験受験のサポートや管理職登用の状況、家族支援などについて、健祥会グループの現状が伝えられました。

その後、食事介助や居室での様子など、就労の現場を視察。インドネシアには高齢者施設はまだ一般的ではないというところで、BNP2TKスタッフは熱心に問いを投げかけておられました。領事からはお祈りについて質問があり、場所も時間も確保されていることに安堵が伝わりました。

最後に「日本で勉強に励み真面目に仕事をし、得た知識をいつの日かインドネシアのためにも活かして活躍できるように頑張ってください」と励ましの言葉をいただきました。



全国で最も多くのEPA人材を受け入れ、資格取得者数も合格率も日本一を誇る健祥会グループの現状を評価いただき、在大阪インドネシア共和国総領事館の領事とインドネシア労働者海外派遣・保護庁(BNP2TK)スタッフが訪れてくださることとなり、特別養護老人ホーム水明荘、老人保健施設健祥会ウエルにお迎えしました。

インドネシア共和国特命全権大使の言葉に励まされて

2017 7/28(金)

インドネシアと日本との間で、EPAによる介護人材交流がはじまって今年で10年目。この節目に、インドネシア共和国特命全権大使アリアフィンタリス氏がEPA職員の激励と現場視察のために健祥会グループを訪れてくださることとなり、一行を、吉野川市の老人保健施設健祥会ウエルにお迎えしました。2015年に訪問くださった総領事ウイスヌ・エディ・プラティグニヨ氏も同行くださいました。

当日は、県内の施設に就労するインドネシア人材の中から33名がウエルに集合。配偶者4人もそれぞれ子どもを伴って参加しました。

会場のスクリーンに1期生がはじめて施設にやってきたときからの思い出のシーンが映し出され、懐かしさとともに見入った後、懇談のひとつにはお国の言葉での会話と笑顔が弾みました。

その後、食堂での昼食風景や居室の様子、インドネシア人材の仕事ぶりを視察。「与えられた素晴らしい環境のもとで最大限の努力をして、インドネシアの誇りになってください。皆さんの元気な姿を見ることができて、嬉しい限りです。皆さんの成功に向かって神のご加護がありますよう祈ります」との言葉をいただき、インドネシア人材員にとって大きな励みとなりました。

仕事のキャリアばかりでなく人としての成長も大切に、女性職員をゆるやかにネットワークして、教養を育み、心を豊かにし、育ち合い高め合う学びの場「KIRARI WOMAN ネットワーク」。活動2年目となる今年にはさらにパワーアップ。女性だけでなく男性もメンバーに迎えて、3つのイベントを企画開催しました。



KIRARI WOMAN ネットワーク 活動報告

「0歳から100歳overファッションショー」で新しい高齢者像と福祉の仕事の魅力を発信

2017 10/29(日)



高齢者の生きがいづくり、子どもたちの思い出づくりになるようにと願って、健祥会グループ本部の健祥会トゥモローホールで、「0歳から100歳overファッションショー」を開催しました。

ショーの第1部は子どもが主役のキッズコレクション。第2部がご高齢者を中心に様々な世代によるユニバーサルコレクション。モデルを務めたのはすべてごども園・保育園の園児と保護者、施設サービス利用者様とご家族、そして職員です。

キッズコレクションでは32組69名の皆様が登場。ランウェイを笑顔で闊歩。ユニバーサルコレクションには17組29名の方が出演し、介護職とともに、また、お子さんやご主人とともに、自立の方も車椅子の方も、どなたも輝く笑顔で登場し、素晴らしい華やかな世界がステージの上に繰り広げられました。

このファッションショーを通じて、新しい高齢者像と、高齢者の可能性を支える福祉の仕事の魅力を発信できたことと、手応えを感じています。

パパやママといっしょに遊ぼう! 「KIRARI KIDS FESTA」

2017 11/18(土)



日頃仕事と家庭の両立に奮闘するパパ&ママに、ゆったりとした気持ちでお子さんたちといっしょな時間を過ごしてほしいと、グループ職員の子育て支援を目的に「KIRARI KIDS FESTA」を開催しました。グループ内の保育園・認定こども園の協力を得て、22組68名(大人34名・子ども34名)がとくしま健祥会保育園に集合。インドネシアのEPA職員の子どもたち7名も元気にやってきてくれました。

道場でのリトミック体操、広い園庭と里山でのネイチャーゲーム、ウッドデッキでの藍染体験、茶室ではとくしま健祥会保育園のお点前で茶道体験。図書コーナーでのベテラン園長による育児相談まで。最後はランチルームで玄米ご飯に素材の味を大切にしながら給食をみんなでいただきました。イスラム教の皆様にはハラルのメニュー、0歳児にはぎざみ食も用意しました。

「子どもたちだけでなく、保護者も一緒に楽しむことができました」「日本の味は難しく家庭ではできないから、おいしい給食、嬉しかったです」などの感想をいただき、初めての「KIRARI KIDS FESTA」は大成功!

「プロカメラマンによる写真の撮り方セミナー」

2017 12/11(月)



今年度の活動第3弾は「プロカメラマンによる写真の撮り方セミナー」。インターネット中継で徳島市、美馬市、阿南市の3会場を結んでの同時開催です。全体で約80名の職員が双方向のコミュニケーションで臨場感を感じながら、写真の構図や演出から、瞳にキャッチライトを入れる方法など、具体的なテクニックまで教えていただきました。学んだことを仕事にもプライベートにも活かして、仕事では、利用者様や園児達の得難い瞬間の表情や動きをナイスショットでできるようにしたいですね。

スポーツで



第13回 健祥会杯 グラウンド・ゴルフ大会

2017 5/13(土) 徳島市民吉野川北岸運動公園(徳島市応神町)

徳島県グラウンド・ゴルフ協会主催、社会福祉法人健祥会協賛。今年から個人戦のみとなり、男女に分かれて競技。過ごしやすい初夏の気候のもと、グラウンドに笑顔の花が咲いた一日。725名もの皆様にご参加くださいました。



第13回 健祥会ふれあい大会

2017 6/4(日) JAあいさい緑地(小松島市和田島町)

小松島市グラウンド・ゴルフ協会所属のグラウンド・ゴルファー132名の皆さんにご参加いただき、梅雨入り前のさわやかな晴天のもと、楽しく和やかに、競技が繰り広げられました。

ゲートボール Gate ball



健祥会カップ争奪 第36回 徳島オープンゲートボール選手権大会

2017 5/20(土) 板野町田園パーク(板野郡板野町)

四国四県と兵庫県淡路島から、合計56チーム・約400名の皆様のご参加を得て、最年少7歳から最年長92歳まで、四世代の集うすばらしい大会となりました。健祥会グループからも6チームが参加。

優勝 / 小松島Aチーム(徳島県)
高齢青年チーム賞 / にこにこチーム(平均年齢82.8歳:吉野川市)



地域に元気を!

Ground golf

グラウンド・ゴルフ



第12回 健祥会グループ杯 南太平洋グラウンド・ゴルフ大会

2017 11/11(土) 那賀川河川敷緑地公園(阿南市羽ノ浦町)

阿南市・海部郡・鷺敷のグラウンド・ゴルフ協会から参加くださった405名の愛好家の皆様、思い思いのペースで、秋の1日を楽しみました。



健祥会カップ争奪東四国国体記念 第25回 四国オープンゲートボール選手権大会

2017 10/14(土) ホテルと文化の里運動場(高松市塩江町)

記念すべき第25回大会。今年はゲートボール生誕70年の記念の年でもあります。25歳から最高齢92歳まで、48チーム246名の皆様に参加。健祥会グループからは、健祥会トゥモロー、水明荘A、水明荘B、緑風会の4チーム。

優勝 / 勝山チーム(愛媛県松山市)
高齢青年チーム賞 / 山茶花チーム(平均年齢87歳:香川県)



健祥会キング準優勝!

第18回 全国社会人 ゲートボール大会

2017 7/29(土)~30(日)

熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
(埼玉県熊谷市)

各都道府県大会を勝ち抜いてきたさまざまな職種の社会人チームが一堂に会して、その頂点を競う全国社会人ゲートボール大会。第13回大会から第17大会まで、健祥会グループのチームが5連覇を遂げており、今年は6連覇をかけての戦いでしたが、惜しくも優勝を逃し、準優勝となりました。

みんなに

生きがいを!



Volleyball

バレーボール



第14回 健祥会カップ バレーボール大会

2017 5/27(土)・28(日)

健祥会パートナー(徳島市国府町)

子どもたちの健全育成の一助になることを願ってスタートした健祥会カップバレーボール大会。今年も徳島県内各地と大阪府岸和田市から、合計48の小学生チームが集い、素晴らしい競い合いを見せてくれました。



健祥会たんぽぽ 大垣 健さん

「干し柿づくり」



デザイナーお龍
森田 昌士さん



「今や咲くらん 空の色」



とくしま健祥会保育園
向井 洋さん



「満開のあじさい」

入賞
23作品



空高くもっと高く！
育英認定こども園 坂口 陽子さん



じいちゃん、ばあちゃんきらいだね
健祥会清盛 梅本 誠彦さん



スイカ! まるかじり♪最高～!!
こまつま健祥会認定こども園 中川 彩容子さん



昔を思い出して
水明荘 多田 晃さん



さくらびより
健祥会ハイジ 大塚 みなみさん



キレイだなあ
ジャンボ緑風会 井上 雅史さん



初夏の思い出
緑風荘 利木 覚さん



鬼と仲良し
健祥会シェンブロン 高倉 裕加里さん



収穫
健祥会シェンブロン 長谷 祐輝さん



な・か・よ・し
こまつま健祥会認定こども園 西良 駿さん



せ～のっ！ふ～～！
育英認定こども園 高野 真美さん



心うきうき春たけなわ
慎太郎 村上 公子さん



笑いは百葉の長
健祥会エンリケベラ クリストファー ソンコさん



いいなあ～ともだちって！
こまつま健祥会認定こども園 西川 友貴さん



ほほえみ
健祥会バーデン 尾方 由明さん



ひと夏の思い出
健祥会リブレ 香川 雄基さん



はじめて見た タンポポの花
育英認定こども園 木村 和恵さん



笑顔で夏まつり
笑顔 井上 沙渚里さん



天地の恵み
緑風会イサベル 藤本 青史さん



孫と共に創りあげた小さな鯉のぼり
健祥会エンリケ 吉田 剛さん



ちべた～い
育英認定こども園 廣瀬 アリサさん



トマトの収穫
笑顔毎日 中島 優希さん



今年もとんちが湧えています
慎太郎 亀山 民男さん

健祥会グループ フォトコンテスト 2017 KENSHOKAI GROUP PHOTO CONTEST 2017

結果発表!

募集テーマ
四季



理事長賞

篠宮 恵子さん
青嵐認定こども園



「せんせえー ゆきー」



本部長賞

とくしま健祥会保育園
吉田 真愛さん



「スモモ GET☆」